

2017 林間聖会 聖会 I 藤本先生

すべてのこと、働かせて益とする神

ローマ8：26－30

28節「私たちは知っています」 (1) うめきを知っている。

- ▶ 18節「いろいろの苦しみ」(複数形)
- ▶ 28節「いろいろの弱さ」(複数形)

- ▶ 20～22節 被造物のうめき
- ▶ 23節 御霊の初穂をいただいている私たちも
うめく

(2) 聖霊の助けを知っている

- ▶ 26節 御霊は弱い私たちを助けてくださる。
- ▶ 「助けてくださいます」
- ▶ 合成語
 - ▶ スン (共に)
 - ▶ アンティ (代わって)
 - ▶ ランバノマイ (担う)

同じように興味深い、28節

- ▶ 3つの言葉しかない
- ▶ パンタ (すべてのこと)
- ▶ 共に働く (スンエルゴー)
- ▶ 益となる (エイシアガソン)
- ▶ 訳がいろいろ

いろいろな訳

- ▶ 文語訳・新共同訳（主語は「すべてのこと」）
- ▶ 「万事が益となるように、共に働く）
- ▶ 新改訳（「神」という主語を想定）
- ▶ 神がすべてのことを働かせて、益としてくださる。

- ▶ 口語訳（「共に働く」を生かす）
- ▶ 神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして下さることを、わたしたちは知っている。
- ▶ フランシスコ会訳（主語は聖霊）
- ▶ 「聖霊は、すべてが益となるように計られる」

3. 神のご計画の行き着くところを知っている。

- ▶ 「さらに」「さらに」「さらに」
- ▶ ウィリアム・フォークナー『響きと怒り』
- ▶ ・コンプソン家
- ▶ ・知的障がいのベンジャミンのうめき

- ▶ シェークスピアの『マクベス』
- ▶ あすが来、あすが去り、そして一日一日と小さく
みに、時の階（きざはし）を滑り落ちて行く、この世の終わりに辿り着くまで